# 水戸四中　学校だより

水戸市立第四中学校
学校だより　第４号
平成２８年１０月１４日

## －平成 28 年度　全国学力・学習状況調査から－

平成 28 年度全国学力・学習状況調査の結果を分析し，第四中学校の生徒の学ぶ力をさらに伸ばすために大切だと思われる内容をまとめたものです。「進んで学ぼうとする意欲」や「思考力・判断力・表現力」等を伸ばすために，学校と家庭，地域が一体となった教育活動の充実に向け，引き続き御支援・御協力をお願いいたします。

## 平成 28 年度 本校の教科の学力状況

(A:知識を問う問題，B:知識をもとに活用する力を問う問題)の平均正答率

| | 国語 A | 国語 B | 数学 A | 数学 B |
|---|---|---|---|---|
| 第四中 | △ | ○ | ◎ | △ |
| 茨城県 | 76.9 | 69.2 | 61.1 | 44.5 |
| 全　国 | 75.6 | 66.5 | 62.2 | 44.1 |

◎：全国及び県の正答率よりも高い　○：全国平均正答率より高い　△：全国平均正答率より低い

昨年度の調査と比較すると，国語・数学ともに高まりが見られる。

国語Ａや数学Ａの基本的知識の問題は正答率が高い。また，資料を活用する力も身に付いている。しかし，国語では「書くこと」，数学では「図形の読み取り」を苦手と感じている生徒が多い。

## 【水戸市全体の調査結果から】

### 国　語

〈成果〉
・A・B 問題ともに全国平均より高い。
・文章を読んで内容を答える問題の正答率が高い。

〈課題〉
・漢字を正しく書くことや辞書を活用して意味を正しく理解すること。
・文章を読んで問題意識をもったり，必要な情報を収集したりすること。

〈改善方法〉
・日常の出来事から問題を見つけ，解決に向け様々な方法で情報を収集する機会をもつ。（→図書館を活用して調べる）
・日常生活の中で習った漢字を使って表記する。

### 数　学

〈成果〉
・A・B 問題ともに全国平均より高い。特に，A 問題の対全国比が 1.2 ポイント昨年度より上昇した。
・きまりにしたがって，正の数・負の数の計算ができる。

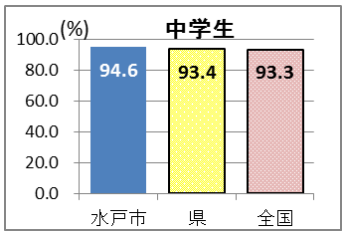
〈課題〉
・用語や記号の意味を正しく理解すること。
・過不足なく，数学的な表現を用いて説明すること。

〈改善方法〉
・問題解決の過程を振り返って考え，発展的に考察することを習慣付けていくようにする。

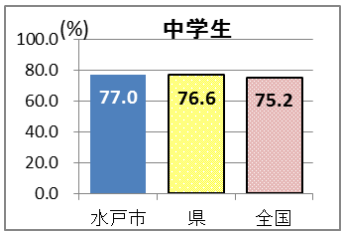
### 水戸市全体の児童質問紙調査から

◆ **生活習慣や学習習慣の安定が，子どもたちの学力向上につながります！**

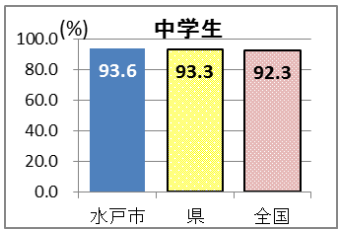
●朝食を毎日食べている




●毎日，同じくらいの時刻に寝ている

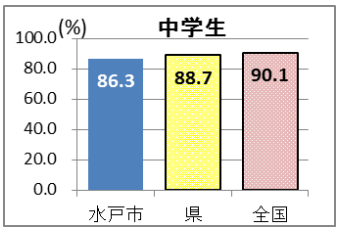



●毎日，同じくらいの時刻に起きている

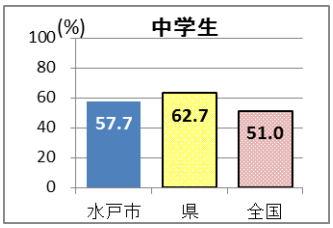



生活習慣や規範意識に関わる内容について県や全国平均を上回っています。生活習慣や規範意識の高い生徒の正答率は高い傾向にあります。

●家で，学校の宿題をしている




●家で，学校の授業の復習をしている

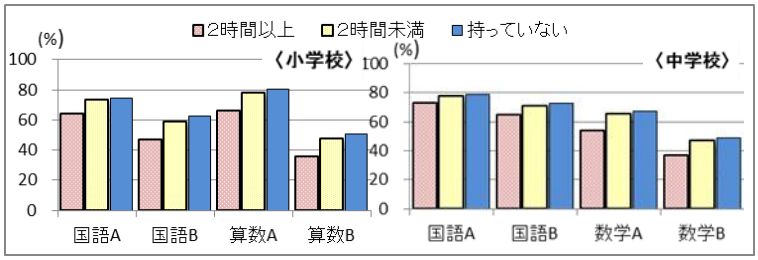



※数値は，「している」「どちらかといえばしている」等，肯定的な回答

宿題や授業の復習等，家での学習が昨年度と同様に県より下回っています。

家庭学習を行っている生徒の教科の正答率は確実に高い傾向にあります。

●携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットの１日あたりの時間




上のグラフは，児童生徒の回答ごとの平均正答率の比較です。

スマートフォン等を所持していない児童生徒は，全ての教科で正答率が高い傾向にあり，２時間未満使用の児童生徒も，同じ傾向にあります。

所持させる場合は，家庭でのルール作りが大切です。

## 【本校生徒の調査結果から】

### 国　　語

【学習の成果が見られたところ】
1　文章を読み返し，文の使い方などに注意して書くことができる。

2　文章の展開に即して，内容を理解することができる。

3　文章の構成を理解することができる。

4　漢和辞典の使い方を理解している。

【課題が見られたところ】
1　根拠を明確にして書くこと。

2　歴史的仮名遣いを，現代仮名遣いに直すこと。

3　慣用句やことわざの意味を正しく理解すること。

**学習のポイント**　※課題が見られたことに対しての学習のポイント

1　根拠を明確に，構成を整えながら，指定した語彙を用いてミニ作文を書く。

2　古典的な言葉の意味や文法についての力を身に付けるために，歴史的文学作品の音読をする。

3　語彙を増やし正しく使えるようにするために，慣用句を用いて短作文を書く。

4　新しい言葉がでてきたときに，正しく言葉を理解するために，辞書や辞典を引く習慣を身に付ける。

### 数　　学

【学習の成果が見られたところ】
1　四則計算がよくできる。

2　等式の変形はよくできる。

【課題が見られたところ】
1　文章問題などで与えられた情報を数学的に処理すること。

2　自然数や立体の名称，関数での y の増加量など，用語の意味を正しく理解すること。

3　作図の意味を理解して，作図を活用して問題を解くこと。

**学習のポイント**　※課題が見られたことに対しての学習のポイント

1　文章の中から必要なことを取り出して数学的に処理するために，図や表に表すなどして数量の関係を捉えるようにする。

2　教科書の用語を確実に理解する。

3　図形を書いたり立体に触れたりする機会を多くし，作図の手順ばかりでなく作図の意味を関連付けて理解する。

※　自分の考えを表現し，見通しをもって問題解決に当たる習慣を身に付ける。あきらめずにチャレンジし根気強く取り組む姿勢を身に付ける。

### 生徒質問紙調査から

学習意欲，学習環境，生活習慣等に関する調査から見られる本校生徒の傾向です。

〈成果〉
○　毎日朝食を食べる，毎日の起床就寝時刻が同じなど，規則正しい生活を送ることができている。
○　自己肯定感があり，将来への夢や目標をもちながらがんばることができる。

〈課題〉
○　人前で自分の考えを発表すること。
○　１日の家庭学習時間(塾も含む)と，テレビやゲームに充てる時間がほぼ同じであることから，家庭での学習時間を確保すること。
○　家庭学習において，自分で計画を立てて学習を進めること。
○　家庭で読書をしたり，新聞を読んだりすること。

〈今後の取組〉
○　家庭ではテレビ等の映像が中心で活字に触れる機会がないので，朝読書の時間を活用し，活字に触れさせていきたい。
○　家庭学習の仕方を再度確認し，家庭学習に進んで取り組めるよう支援していく。
○　朝の会，帰りの会や授業等で，人前で話す機会を増やし，自信をもたせていく。

※調査問題は，文部科学省の HP から閲覧できます。現在求められている学力がどのようなものなのか，御家庭で話題にしてみてください。